

令和4年6月

伊東市議会 6月定例会

一般質問要旨

伊東市議会

一 般 質 問 順 序

- 1 四 宮 和 彦 君
(6月14日(火) 10時～10時50分)
- 2 杉 本 一 彦 君
(6月14日(火) 11時～11時50分)
- 3 鳥 居 康 子 君
(6月14日(火) 13時～13時50分)
- 4 田 久 保 眞 紀 君
(6月14日(火) 14時～14時50分)
- 5 杉 本 憲 也 君
(6月14日(火) 15時～15時50分)
- 6 篠 原 峰 子 君
(6月16日(木) 10時～10時50分)
- 7 佐 藤 龍 彦 君
(6月16日(木) 11時～11時50分)
- 8 浅 田 良 弘 君
(6月16日(木) 13時～13時50分)
- 9 重 岡 秀 子 君
(6月16日(木) 14時～14時50分)
- 10 石 島 茂 雄 君
(6月16日(木) 15時～15時50分)

※ 質問時間は、進行状況によって変更することがあります。

一 般 質 問 要 旨

議 員 四 宮 和 彦

1 ここ数年、本市における法律上の争訟が増加している印象があることから、以下2点伺う。

(1) 法律上の争訟については、裁判上だけでなく裁判外においてもあることから、以下の8項目について、過去10年間における総件数及び年度推移について伺う。

ア 行政訴訟事件

イ 民事訴訟事件

ウ 民事調停事件

エ 支払督促申立事件

オ 家事審判申立事件

カ 住民監査請求

キ 異議申立

ク 上級行政庁への審査請求

(2) 法律上の争訟同様に、行政または市職員の服務規律違反、不法行為等に対する人事上の処分も目立つ印象があることから、以下3点伺う。

ア 過去10年間における、人事上の懲戒処分等の総件数及び年度推移について伺う。

イ 本年6月1日に新聞各社によって報道された元市職員の損害賠償請求事件の記事中、当事者である職員に戒告、その上司に厳重注意処分が下された旨の記載があるが、このような人事上の処分が行われたことは事実か伺う。

ウ この人事処分については、今回の報道で初めて公になったことになるが、処分当時に速やかに経緯を公表しなかった理由及び人事処分が行われた場合の公表ルールについて伺う。

2 本市下水道湯川終末処理場汚泥焼却棟壁面大壁画の修復の必要性と、静岡県屋外広告物条例の適用による規制について、以下2点伺う。

(1) 昨年の9月定例会において、大壁画が屋外広告物に該当し、条例の適用がある旨の答弁を得ているが、この見解には疑問があることから、以下5点伺う。

ア 条例の規制により更新または再施工が難しいとのことだが、現状においても、条例の規制する基準を超える壁画を掲出している状態にあるといえる。その場合、当該大壁画は既に条例違反の状態であるのか、また、条例違反である場合、それはいつの時点で違反となったのか伺う。

イ 条例第6条第1項第2号において、「地方公共団体が公共的目的をもつて表示し、又は設置する広告物又は掲出物件」は条例の適用除外とする旨規定しながら、静岡県屋外広告物条例施行規則に規制の内容・方法を委任する中で規制を行っており、適用除外を有名無実化するものとなっている。このような県条例による規制の方法を本市としてどのように考えるか伺う。

ウ 県条例は、本市の自治権を著しく侵害していると考えますが、いかがか伺う。

エ 下水道処理場という迷惑施設の修景事業の一環として施工された同壁画が、屋外広告物法第3条の規制の要件「良好な景観又は風致を維持するために必要があると認めるとき」に該当するとは考えられないが、いかがか伺う。

オ 同壁画は条例第6条第2項第8号の「地方公共団体が設置する公共掲示板に表示する広告物」に当たると考えるが、いかがか伺う。

(2) 現状の壁画の劣化は、原画作者の著作権者人格権の侵害となり得ることから、この状況を放置できないと考えるが、今後どうあるべきと考えるか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 杉 本 一 彦

- 1 先日、報道があった伊東市役所内でのいじめ問題について、市が損害賠償を請求された経緯について伺うとともに、市職員に対するハラスメント対策についてどのような取組等が講じられているか伺う。

- 2 去る5月、政府の推奨するSDGs未来都市不認定の結果を経て、本市として今後SDGsをどのように推進していくか市長の考えを伺う。

- 3 高齢化が進み自動車運転免許証を返納する市民が増える中、市内公共交通機関の在り方について不安を抱える市民の声がますます多くなっていることから、以下3点伺う。
 - (1) 今年度伊東市南部地域で計画されている、デマンドタクシー実証実験事業の準備状況と具体的内容について伺う。

 - (2) 交通弱者がますます増えることが予想される中、市全域から寄せられる市民からの声をどのように捉えているか伺う。

 - (3) 将来に向けて本市の公共交通の体制や在り方について、具体的にどのようにイメージしているか市長の考えを伺う。

- 4 本市の移住促進施策を進める中において、本市に多数存在する空き家を生かすべきと考えることから、以下2点伺う。
 - (1) 本市の空き家の分類と戸数を伺うとともに、所有者不明の空き家が市内にどれくらい存在するか伺う。

 - (2) 本市の空き家を移住施策に生かすため、下田市等で成果をあげている「空き家バンク」の設置は大変効果的であると考えがいかがか。

5 本市においても幼保一元化の取組が進められていくと思うが、認定こども園設置について、以下2点伺う。

(1) 川奈愛育クラブの状況や、幼保一元化に関し幼稚園・保育園職員との意見交換等により洗い出された、認定こども園設置についての課題や問題点について伺う。

(2) 少子化や施設の老朽化等により幼保統合は合理的であると考えられるものの、各機能等が異なるため簡単な話ではないことも察するが、本市として今後どのような計画で幼保一元化を進めていくか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 田久保 眞 紀

- 1 外国人観光客の受入れが、6月10日から条件付で再開されたが、コロナ禍からの立ち上がり時期であることも踏まえ、本市におけるこれからの観光への取組や方針などを伺う。

- 2 八幡野漁港のしゅんせつが定期的に行われているが、八幡野川から港内へ流れ込む土砂について、周辺環境の保全や河川の改修など、どのような対策や計画があるか伺う。

- 3 職場でのいじめが原因で退職したとして元職員が市と上司、先輩職員を提訴したことが新聞等で報道されたが、本市におけるこれまでのハラスメント対策及び今後の見通しについて伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 杉 本 憲 也

- 1 市民の安全・安心な暮らしを確保する観点から、以下6点伺う。
 - (1) 本年1月16日午前0時15分、本市にトンガ沖海底噴火を起因とする津波注意報が発令されたことに関し、以下2点伺う。
 - ア 津波注意報発令から解除に至るまでの本市の対応を伺う。
 - イ 熱海市や下田市では避難所が開設されていたが、同じ沿岸部の本市で避難所を開設しなかった理由及び根拠を伺うとともに、津波注意報発令時など災害時における避難所の開設基準や開設の流れについて伺う。
 - (2) 災害は昼夜問わず襲ってくる可能性があることに鑑み、夜間や休日に施設等で避難が困難な津波避難ビルをはじめとする各種避難場所の状況を伺うとともに、夜間に発災した場合における市民の安全確保に向けた取組について、本市の考えを伺う。
 - (3) 本市の食料自給率の現状及びそれに対する危機管理の観点に鑑みた本市の考えを伺うとともに、災害等で市外との間や市内各地区間で陸路が遮断された場合、どの程度の期間、市民の暮らしを守ることができる備蓄体制を本市として構築しているのか伺う。
 - (4) 津波発生時、宇佐美地区の県道伊東大仁線など、過去の津波被災時には存在しなかった広い道路が津波の勢いを衰えさせる障害物のない川のような役割を果たしてしまい、予想以上に大きな被害をもたらす可能性があるため、津波被害軽減策として、景観を阻害することなく津波減衰効果が期待されている海岸へのハマボウの植栽や、津波避難タワーを兼ねた歩道橋を設置するなどの対策が必要であると考えているが、本市の津波浸水想定区域内における津波被害予防対策強化に係る考えを伺う。
 - (5) 国及び県の盛土規制関連法令の改正に伴う、本市の対応状況及び今後の見通しを伺う。

(6) 国道135号の宇佐美海岸線の歩道について、安全面の観点から、バリアフリーに対応した路面整備や歩道灯を整備すべきと考えるがいかがか。

2 本市の医療提供体制の充実について、以下3点伺う。

(1) 本市の医療体制の現状について伺う。

(2) 今後、本市のさらなる高齢化に伴う移動困難者増加に対応するには、自宅で医療を受けられる環境づくりが重要であると考えますが、宇佐美、伊東、小室、対島の地区ごとの取組状況について伺う。

(3) 子育て世代の移住定住を促進するためには、安心安全に出産や子育てを行える環境の整備が必須であり、そのためには、少なくとも身近な場所で産婦人科、小児科を受診できる環境をつくることと考えることから、以下2点伺う。

ア 現在、市内で産婦人科、小児科を受診できる医療機関の数を伺う。

イ 産婦人科、小児科を受診できる医療体制に関する本市の見解を伺うとともに、本市の産婦人科、小児科をはじめとする医療サービスの維持・充実に係るビジョンを伺う。

3 新型コロナウイルス感染症に感染または濃厚接触者となったことにより自宅療養や自宅待機を余儀なくされている方や、隔離解除後も後遺症と疑われるような症状に悩まされて日常生活に困難が生じている方に対し、食料や生活物資の配給、ゴミの個別収集、見舞金の給付や症状改善に至るまで医療費を無償化するなど、市独自に市民の命と暮らしを支えるきめ細かな支援策を早急に実施すべきであると考えますが、いかがか。

一 般 質 問 要 旨

議 員 篠 原 峰 子

- 1 今年度4月から静岡県として骨髄ドナー助成制度が開始されたが、本市の取組についての考えを伺う。

- 2 ご遺族の負担軽減のための「おくやみコーナー」の導入に向けての本市の考えを伺う。

- 3 生理の貧困対策について、以下2点伺う。
 - (1) 昨年5月から子育て支援課と各出張所において生理用品の無償配布が実施されたが、昨年度の実績と現状の対応方法を伺う。

 - (2) 昨年、学校の女子トイレにも無償配布ができないか要望したところであるが、学校における昨年度の状況と今後の方針を伺う。

- 4 ヤングケアラー実態調査に関して、以下3点伺う。
 - (1) 昨年度、静岡県内のヤングケアラーの実態調査が行われたが、本市における実態調査の状況について伺う。

 - (2) 本年度は全児童・生徒に調査対象を広げて実施することが国から示されたが、本市での予定について伺う。

 - (3) 調査結果を受けての適切な支援、対策についての考えを伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 佐 藤 龍 彦

- 1 伊東駅からマックスバリュ前を通る市道伊東駅・伊東港線、通称西口線は道幅も狭く、交通の面で大変危険であるが、本市として危険性をどう認識し、今後の安全確保をどのように考えるか伺う。

- 2 老朽化が進む宇佐美保育園園舎について、以下3点伺う。
 - (1) 令和3年の市有建築物耐震性能リストには、宇佐美保育園園舎は建物ランクⅢと示され、「倒壊する危険性があり、大きな被害を受けることが想定される」とあり、保護者から心配する声が上がっているが、本市としてその危険性をどう認識しているか伺う。

 - (2) これまでに宇佐美保育園園舎の老朽化への対応として、どのように検討し、どのような対策を講じてきたか、その経過を伺う。

 - (3) 市有建築物耐震性能リストには「認定こども園への移行検討」とあるが、建て替えや移転等を含め、これまでどのような検討をし、今後どのように進めていくのか伺う。また、保護者に対し、これまでの経過や今後の方針等を説明する必要があると考えるが、いかがか。

一 般 質 問 要 旨

議 員 浅 田 良 弘

- 1 大規模災害発生時等の本市の対応策について、以下4点伺う。
 - (1) 地域により本市が指定する避難所数に偏りがあるため、市民に不公平感が生じていると思うが、その改善策について伺う。また、避難所の保守点検の実施状況について伺う。
 - (2) 災害対応に当たる職員数に不足が生じた場合の対応について伺う。
 - (3) 令和3年5月の災害対策基本法の一部改正に伴う、避難行動要支援者の個別避難計画及び要支援者名簿の作成状況について伺う。
 - (4) 多発漏水の被害想定や復旧策を伺うとともに、断水時の情報提供及び給水等の初期対応について伺う。

- 2 過日、鎌田地区内で発生した土砂災害について、地域住民の不安が払拭されていない現状があることから、住民等の安全確保や再度の崩壊への不安解消のための対策について伺う。

- 3 食育推進を図る観点から、幼稚園給食の実施は必須であり、優先すべきと考える。市立幼稚園PTA連絡協議会の要望や保護者アンケートでも、実現を望む保護者が7割を超えることから、幼稚園給食実施に向けた進捗状況を伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 重 岡 秀 子

- 1 市民病院の現状と課題について、以下4点伺う。
 - (1) 産婦人科の出産状況と課題について伺う。
 - (2) 夜間における救急医療の受入体制の現状について伺う。
 - (3) 市内に療養病床がない中、入院患者が退院後に在宅医療になることも増えていると思われることから、その体制について伺う。
 - (4) 市民の声が届くための病院の体制がどうなっているか、現状について伺う。
- 2 行政における不祥事などの再発防止及び抑止策として「公益通報制度」が有効と考えるが、本市における取組の現状と今後の課題について伺う。
- 3 行政から市民に送られる文書などに関しては、より市民に分かりやすいものにしていく努力が必要と考えるが、本市ではどのような取組がされているか、現状について伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 石 島 茂 雄

1 現在、市民の方々が急激なインフレに直面している現状について、市長がどのような認識を持っているか伺う。

2 「退職はいじめが原因」として、元伊東市職員が市を静岡地裁に提訴したとの報道があったが、この問題についての経緯を伺う。